

春季防災避難訓練を実施

5月20日(土)午後、亀田総合病院 Kタワー 12階スタッフラウンジを模擬出火場所に想定し、春季防災避難訓練を実施しました。

当院では年2回、火災を想定した防災避難訓練を実施しています。訓練は模擬出火場所や訓練実施時刻をあらかじめ公表しないかたちで行われ、火災の発見から初期消火、連絡、通報、避難、誘導など、火災発生時の対応について一連の流れを確認しました。また消火器・消火栓を使った消火訓練も併せて行われ、新入職員などを中心に大勢のスタッフが参加し、それぞれの使用法を再確認しました。



また6月28日(水)午前中には災害訓練が予定されています。基幹災害拠点病院として、災害発生初期段階から迅速に院内の被害状況、職員状況、安房地域の被害状況を把握し、医療体制を確立できるよう、今回は災害対策本部を中心とした机上訓練を行います。

応急手当講座のご案内

熱中症と夏の病気をテーマに、救命救急センター長の不動寺純明医師による講演と、包帯法などの実技を学ぶ「応急手当講座」を下記のとおり開催いたします。中学生以上の方ならどなたでもご参加いただけます。

■日時：7月8日(土)午前9時～12時

■会場：亀田総合病院 継続学習センター 研修室

■定員：30名

■受講料：1,000円(学生500円、資料・包帯などの実費を含む)

■申込方法：郵便はがきまたはFAX、Eメールにて、
①氏名(フリガナ) ②年齢 ③性別 ④郵便番号
⑤住所 ⑥電話番号を添えてお申込みください。
なお、個人情報は厳守いたします。

宛先 〒296-8602 鴨川市東町929

亀田総合病院 継続学習センター 応急手当係

FAX：04-7099-1195

Eメール：keigaku@kameda.jp

■準備するもの：動きやすい服装と靴、筆記用具



青山フラワーマーケット 父の日ギフト まだ間に合います

今年の父の日は6月18日(日)です。日頃の感謝の気持ちを込めて、お花をプレゼントしてみませんか？

亀田クリニック1階の青山フラワーマーケットでは、ひまわりを使った生花のアレンジやブーケのほか、観葉植物の鉢植えなど、父の日ギフトを多数ご用意しています。地方発送も承っておりますのでご利用ください。



便失禁に対する無料電話相談

日本では500万人患者がいると言われている便失禁。同病気でお悩みの方に治療法を含む適切な情報を提供する目的で、毎月、専門医による無料電話相談を実施しています。どうぞご相談ください。

■日時：6/28(水)、7/12(水)、7/26(水)
午後2時～4時

■電話番号：04-7099-1206(直通)

■対応者：角田明良医師または高橋知子医師

敷地内全面禁煙にご協力を



当院は多くのがん患者さまの診療を受け持つ「がん診療連携拠点病院」です。そのため、敷地内禁煙等のたばこ対策に積極的に取り組むことが遵守規定となっています。喫煙による健康被害を防止するため、建物内に限らず病院敷地内は全面禁煙とさせていただきます。下記赤線で囲ったエリアに加え、駐車場も病院敷地となります。ご理解と協力のほど、よろしくお願いいたします。



腎移植について

腎移植科・透析センター 高梨弥生

第8話 レシピエント移植コーディネーターってなに？

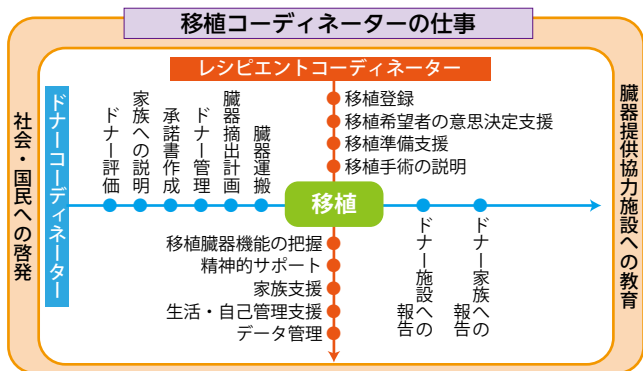
初めまして。レシピエント移植コーディネーターの高梨です。今回は私がどのような仕事をしているのかご紹介したいと思います。

【治療方法の選択】

腎臓は「沈黙の臓器」と言われるように、早期の腎臓病では自覚症状がほとんどありません。先生から「腎臓が悪い」と言われても「？」といった感じでしょう。

腎臓の働きが徐々に悪くなると、その働きを補う治療が必要になります。腎臓高血圧内科の先生から「そろそろ透析の準備をしないとね」と話があった時、「もう人生の終わりだ」「透析やるくらいなら死んでもいい」など、人生の終末だと悲観する患者さまが多くなります。私は透析センターでも勤務していますから、そんな声も聞いたりします。大切なのは「治療のために生きるのではなく、生きるために治療する」ことだと思います。

「透析（血液透析・腹膜透析）以外に何か治療方法はないの？」と考える方もいるでしょう。もう一つの腎代替療法が腎移植です。移植医療は言うなればエンジンの取り換えです。移植を受けた患者さまによると、移植前は身体が重くてエンジン音に例えると「ブル、ブル、ブルルルル」だったのが、移植後は体が軽く楽になり、「ブルルルル〜」になったそうです。ここからは腎移植の一連の流れと、そこに携わる移植コーディネーターの仕事をご紹介します。



【レシピエント移植コーディネーターの仕事】

移植コーディネーターには、脳死患者さま（ドナー）とそのご家族のケアをする「ドナー移植コーディネーター」と、移植病院で移植を待つ患者さま（レシピエント）のケアをする「レシピエント移植コーディネーター」があります。私が務めるレシピエント移植コーディネーターの仕事は以下にまとめたとおりです。

レシピエント移植コーディネーターの仕事	
移植前	・移植に関する情報提供・患者さまの基礎情報の作成 ・移植準備への支援・外来看護師への情報提供など
移植手術周術期	・病棟看護師への情報提供・インフォームドコンセントへの同席 ・患者さまの状態把握と治療計画・看護計画の把握 ・ご家族のサポート・外来看護師への情報提供など
回復期	・患者さまの状況把握・治療計画・看護計画の把握など
移植後長期フォローアップ期	・退院指導の評価・患者さまの状態把握 ・自己管理、生活指導・定期受診管理(定期健診・がん検診)

生体腎移植を希望される場合は、ドナー候補者と一緒に面談を行い、当院での一連の流れや費用等の説明を行います。その後、腎移植科の外来の予約をします。また献腎移植を希望される場合は登録施設への受診方法の説明を行います。移植後の外来でもコーディネーターが面談を実施し、主に移植腎機能の管理、生活指導、精神的な支えの3点に重点を置き、さまざまなフォローを行います。移植はチーム医療です。多くのスタッフが治療に関わるので、その調整役も行います。

移植腎機能の管理	生活指導	精神的なサポート
・体重、血尿、尿量、体温など、外来受診間の身体的な状況変化の確認 ・外来時のデータ確認 拒絶反応、感染兆候の確認など ・その他(定期腎機能検査、定期腎生検入院説明、他院・他科受診、定期がん検診)確認など	・自己管理状況の把握 ・免疫抑制剤の内服状況の管理 ・食事指導(塩分、蛋白制限など) ・血圧コントロール ・高脂血症 ・体重コントロールと運動指導など	・自己管理継続のモチベーション管理 ・職場、学校でのストレス、家族との関係におけるストレスのケア ・移植腎機能に対する将来への不安や葛藤のケア ・結婚・妊娠・出産・転職・定年退職などのイベント ・移植以外の疾病や治療に対する不安のケア

【知る権利】

患者さまには「知る」権利があります。末期の腎不全で治療選択の時期になったときや、まだその段階ではなくても腎移植についてお知りになりたい方は、遠慮なくレシピエント移植コーディネーターまでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 亀田総合病院 TEL.04-7092-2211

「移植のはなしを聞きたいので、コーディネーターへつないでほしい」と言ってください。

第9話では、腎移植にかかる費用についてお話しします。

医師紹介

かたやま みつや
片山 充哉 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①総合内科 部長代理、卒後研修センター長補佐、CSSセンター 副センター長
- ②内科全般、感染症診療
- ③ランニング、子育て
- ④お気軽にお声がけ下さい



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>